

Case 12

地域の商業施設との共同プロジェクト ものづくり・体験教室&ファッションショー



◀ 夏休み 親子で楽しむものづくり・体験教室

Step 1

2010年に相模原市の橋本駅前にオープンした大型の複合商業施設、アリオ橋本は、地域貢献をコンセプトのひとつに掲げてさまざまな活動を行っています。本学の地域連携の考えとも合致することから、継続的に共同イベントを開催するべく、本学との間で協定を締結しました。近隣の地域でお互いが協力し、より一層の地域貢献を目指すこととなりました。



Step 2

どのような連携ができるか意見交換を重ねた上で、まずは8月に「夏休み 親子で楽しむものづくり・体験教室」と題したイベントを実施しました。工作や裁縫、実験など24のブースを設置し、学生・教員が子どもたちと一緒にものづくりを楽しみました。当日は400人以上の子どもたちが参加し、多くの方から好評をいただきました。



Step 3

12月には「KVAコレクション-女子大生が選ぶファミリーファッション」と題したファッションショーを行いました。このショーは、学生がアリオ橋本のアパレルショップから商品を選び、コーディネートをするというもので、企画から運営、パンフレット作成まで学生が中心となって実施しました。当日は、会場が満席になるほどのお客さんが集まりました。



topics

本学の地域連携においては、商業施設との連携は前例がありませんでしたが、今回のイベントを通じて、このような連携も地域貢献に結びつくひとつの形であることが確認できました。アリオ橋本とは今後も継続して共同イベント等を実施する予定です。

data

- パートナー アリオ橋本
- 担当教員 安藤稜教授、白井篤教授、花田朋美助教他
(現代生活学部生活デザイン学科)
- 実施期間 2011年6月～2011年12月